

2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2026年7月8日

上場会社名 株式会社エービーシー・マート 上場取引所 東
 コード番号 2670 URL <https://www.abc-mart.co.jp/ir/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 服部 喜一郎
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画室長(氏名) 石井 寧大 (TEL) 0334765452
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績(2026年3月1日~2026年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	105,483	8.0	20,316	8.3	21,030	10.3	14,296	10.4
2026年2月期第1四半期	97,698	1.5	18,757	1.9	19,062	△0.6	12,953	△1.2

(注) 包括利益 2027年2月期第1四半期 13,236百万円(65.8%) 2026年2月期第1四半期 7,981百万円(△49.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	57.74	—
2026年2月期第1四半期	52.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	466,840	404,332	86.0
2026年2月期	455,202	401,000	87.5

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 401,352百万円 2026年2月期 398,079百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	35.00	—	40.00	75.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の連結業績予想(2026年3月1日~2027年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	200,100	5.2	34,700	3.1	35,670	△0.7	24,640	1.2	99.51
通期	400,800	5.9	65,600	3.7	67,400	0.4	46,400	0.1	187.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年2月期1Q	247,618,938株	2026年2月期	247,618,938株
② 期末自己株式数	2027年2月期1Q	2,318株	2026年2月期	2,318株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年2月期1Q	247,616,620株	2026年2月期1Q	247,616,664株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
決算データ資料	

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2026年3月1日から2026年5月31日まで)における事業環境は、個人所得・雇用環境の改善や円安を背景としたインバウンド需要の増加により、国内需要は緩やかに増加しました。一方で、貿易摩擦や中東情勢等による地政学リスクの長期化やエネルギー価格・原材料価格の上昇に伴う物価の高騰により、先行き不透明な状況が続いております。

シューズ業界におきましては、世界的な健康志向の高まりからランニングやウォーキング需要が増加しており、スポーツシューズとスポーツウェアをファッションに取り入れる動きが拡大しております。手を使わなくても履けるハンズフリー市場においては、シューズのみならず、ハンズフリーのサンダルやブーツへ商品の多角化が進み、こうした付加価値の高い商品の需要が急速に拡大しました。

このような状況下、当社グループは、グランドステージと複合業態店舗の拡大、デジタルインフラの活用、スポーツシューズとスポーツアパレルを含めたライフスタイルカジュアルの拡充に対応してまいりました。店舗展開につきましては、当四半期において、国内外合わせて13店舗の新規出店、17店舗の増床を含む25店舗の改装等を行い、当社グループの店舗数は1,508店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期の連結業績は、国内外でインバウンド需要の増加が見られ、また低迷していた海外事業が復調してきたことから、売上高は前年同期比8.0%増の1,054億83百万円となりました。利益面につきましては、営業利益は前年同期比8.3%増の203億16百万円、経常利益は前年同期比10.3%増の210億30百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比10.4%増の142億96百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

イ. 国内

販売戦略につきましては、著名なアーティストを起用した宣伝を強化し、ナショナルブランドの新作シューズとアパレルの販売を強化してまいりました。商品展開においては、ランニングやウォーキングシューズ、市場が拡大しているハンズフリーシューズ、インバウンド向け商品など多数展開し、プロパー販売を強化してまいりました。

店舗展開につきましては、地方郊外のショッピングセンターを中心に10店舗の出店、2店舗の閉店を行い、当四半期末時点における店舗数は1,115店舗となりました。シューズとスポーツアパレルの売上を拡大していくため、集客力のある商業施設に「GRANDSTAGE」と「OSHMANS」の出店を拡大してまいりました。またインバウンド需要に対応していくため、グローバルに認知度が高まっている「GRANDSTAGE」と「ABC-MART」の2バナーでの出店を進めてまいりました。当四半期においては、ららぽーと豊洲に最新の「GRANDSTAGE4.0業態」と

「ABC-MART2.0業態」のハイブリット型をオープンしました。また「GRANDSTAGE」がすでに展開している商業施設の隣接区画に「OSHMANS」を3店舗新規出店いたしました。「OSHMANS」の顧客層は「GRANDSTAGE」と親和性があるため、相互送客による売上の拡大を目指してまいります。既存店につきましては、増床改装、好立地への移転、スクラップアンドビルドを伴う業態変更を進めてまいりました。既存店の改装は、21店舗実施し、このうち増床改装は15店舗、業態変更は13店舗となりました。これらの結果、当四半期末時点で「GRANDSTAGE」は140店舗、「ABC-MART SPORTS」は128店舗、「OSHMANS」は24店舗、また2バナー以上の複合業態店舗はリニューアルを中心に当四半期で11店舗出店し、147店舗となりました。

国内店舗の売上高増収率につきましては、物価高の影響で一人当たりの買い上げ点数に減少が見られる一方で、ナショナルブランドの高単価なスニーカーや本革ブーツ、スポーツアパレルの販売は好調でした。円安の影響も相まってインバウンドによる消費が増加しました。これらの結果、全店は前年同期比7.3%増、既存店は前年同期比6.5%増となりました。

以上の結果、国内における売上高は前年同期比7.2%増の779億53百万円、セグメント利益は前年同期比7.2%増の189億22百万円となりました。

ロ. 海外

海外の店舗展開につきましては、韓国において3店舗の新規出店、スクラップアンドビルドで6店舗の閉店を行いました。韓国の聖水に路面店と、釜山ロッテアクトモールに「GRANDSTAGE4.0」を出店いたしました。これにより、韓国におけるGRANDSTAGE4.0業態は5店舗となりました。当四半期末(2026年3月31日現在)の海外店舗数は、韓国317店舗、台湾63店舗、米国7店舗、ベトナム4店舗、フィリピン2店舗、計393店舗となりました。

(ほか閉店 台湾1店舗、ベトナム1店舗)

海外の業績につきましては、為替は前年同期と比べ円安へ進行しました。韓国につきましては、一昨年12月の戒厳令により前上期は消費が著しく減退しましたが、厳しい環境のもと、ランニングを強化した新しいGRANDSTAGE業態を中心に業態別の出店を進めてまいりました。中国や東南アジアからのインバウンド客も多く、売上高は前年同期比13.1%増の179億5百万円となりました。台湾につきましては、堅調な経済背景の中、大型ショッピングモールを中心に業績は堅調に推移し、売上高は前年同期比14.5%増の38億21百万円となりました。主にレザーシューズの製造販売を行っている米国につきましては、物価高と政府の関税政策の影響によりシューズマーケットにとっては不確実な状況が続いておりますが、直営チャンネルを中心に比較的堅調に推移しており、売上高は前年同期比0.9%増の68億14百万円となりました。ベトナム、フィリピンにつきましては連結業績へ与える影響は軽微であります。なお、海外連結子会社はいずれも12月決算であります。

これらの結果、海外における売上高は前年同期比10.8%増の289億12百万円、セグメント利益は前年同期比29.2%増の13億87百万円となりました。

品目別販売実績

品目別	前第1四半期連結累計期間 (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (百万円)	前年同期比(%)
スポーツ	58,701	61,823	5.3
レザーカジュアル	11,824	12,405	4.9
キッズ	8,275	9,448	14.2
サンダル	3,652	4,270	16.9
レディース	4,253	4,323	1.7
ビジネス	2,845	2,786	△2.1
ウェアその他	6,312	8,577	35.9
その他	1,833	1,848	0.8
売上高合計	97,698	105,483	8.0

(注) 上記金額は、国内及び海外の合計で表示しております。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ110億21百万円増加し、3,558億68百万円となりました。主な要因は、仕入の増加による棚卸資産の増加105億9百万円等によるものであります。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億16百万円増加し、1,109億71百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ83億6百万円増加し、625億8百万円となりました。主な要因は、電子記録債務の増加86億83百万円、支払手形及び買掛金の減少16億28百万円、及び未払法人税等の支払による減少35億86百万円等によるものであります。なお、当四半期末日は金融機関の休日であったため、期末日満期手形及び電子記録債務が23億61百万円、四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ33億31百万円増加し、4,043億32百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加43億92百万円及び為替換算調整勘定の減少20億68百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、概ね予定どおりに推移しており、2026年4月8日の「2026年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	200,725	192,150
受取手形及び売掛金	16,686	23,800
有価証券	14,395	14,801
棚卸資産	106,562	117,071
その他	6,610	8,180
貸倒引当金	△133	△136
流動資産合計	344,847	355,868
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	51,720	52,560
減価償却累計額	△25,895	△26,327
建物及び構築物(純額)	25,824	26,233
工具、器具及び備品	27,730	27,992
減価償却累計額	△21,895	△22,030
工具、器具及び備品(純額)	5,835	5,961
土地	23,098	22,996
建設仮勘定	1,208	1,623
その他	364	366
減価償却累計額	△316	△318
その他(純額)	48	47
有形固定資産合計	56,015	56,862
無形固定資産		
商標権	0	—
ソフトウェア	2,803	2,522
のれん	63	47
その他	457	543
無形固定資産合計	3,324	3,113
投資その他の資産		
投資有価証券	20,114	21,206
関係会社株式	1,221	1,221
長期貸付金	68	62
敷金及び保証金	27,014	26,454
退職給付に係る資産	385	320
繰延税金資産	1,674	1,171
その他	554	577
貸倒引当金	△18	△17
投資その他の資産合計	51,014	50,996
固定資産合計	110,354	110,971
資産合計	455,202	466,840

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,233	14,605
電子記録債務	9,416	18,100
短期借入金	1,222	3,405
未払法人税等	10,856	7,269
契約負債	1,063	1,037
賞与引当金	1,303	2,229
引当金	315	261
資産除去債務	111	117
設備関係支払手形	312	—
設備関係電子記録債務	444	1,001
その他	11,060	12,522
流動負債合計	52,341	60,552
固定負債		
退職給付に係る負債	9	95
資産除去債務	755	747
その他	1,096	1,112
固定負債合計	1,860	1,955
負債合計	54,201	62,508
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,972	19,972
資本剰余金	24,114	24,114
利益剰余金	326,373	330,765
自己株式	△4	△4
株主資本合計	370,456	374,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,131	8,081
為替換算調整勘定	20,490	18,422
その他の包括利益累計額合計	27,622	26,503
非支配株主持分	2,921	2,979
純資産合計	401,000	404,332
負債純資産合計	455,202	466,840

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	97,698	105,483
売上原価	46,437	51,093
売上総利益	51,260	54,390
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,117	1,158
広告宣伝費	1,829	1,815
保管費	685	677
役員報酬及び給料手当	8,683	9,214
賞与	1	2
賞与引当金繰入額	916	993
退職給付費用	239	232
法定福利及び厚生費	1,342	1,409
地代家賃	9,384	9,905
減価償却費	1,458	1,561
水道光熱費	663	647
支払手数料	2,797	3,066
租税公課	557	573
のれん償却額	15	15
その他	2,809	2,799
販売費及び一般管理費合計	32,503	34,073
営業利益	18,757	20,316
営業外収益		
受取利息	222	190
受取配当金	83	134
為替差益	—	27
賃貸収入	242	216
広告媒体収入	8	8
その他	108	291
営業外収益合計	665	868
営業外費用		
支払利息	13	13
為替差損	207	—
賃貸費用	131	121
その他	8	19
営業外費用合計	360	154
経常利益	19,062	21,030

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
特別利益		
固定資産売却益	7	0
特別利益合計	7	0
特別損失		
固定資産除却損	48	59
減損損失	36	41
特別損失合計	84	100
税金等調整前四半期純利益	18,984	20,931
法人税、住民税及び事業税	5,996	6,516
法人税等調整額	△20	63
法人税等合計	5,975	6,579
四半期純利益	13,009	14,351
非支配株主に帰属する四半期純利益	55	54
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,953	14,296

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	13,009	14,351
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72	949
為替換算調整勘定	△4,955	△2,064
その他の包括利益合計	△5,027	△1,115
四半期包括利益	7,981	13,236
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,097	13,177
非支配株主に係る四半期包括利益	△115	58

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	72,436	25,262	97,698	—	97,698
セグメント間の内部 売上高又は振替高	278	836	1,115	△1,115	—
計	72,714	26,099	98,813	△1,115	97,698
セグメント利益	17,645	1,074	18,719	37	18,757

(注) 1 セグメント利益の調整額37百万円はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	77,661	27,822	105,483	—	105,483
セグメント間の内部 売上高又は振替高	291	1,090	1,382	△1,382	—
計	77,953	28,912	106,866	△1,382	105,483
セグメント利益	18,922	1,387	20,309	7	20,316

(注) 1 セグメント利益の調整額7百万円はセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	1,547百万円	1,658百万円
のれんの償却額	15	15